

## 式辞

日ごとに濃さを増していく木々の緑を背景に、暖かい春の風が吹き抜けていく今日の佳き日に、ご来賓として、P T A会長 高橋 陽香様、同窓会会長 狩野 浩志様、P T A本部役員の皆様、ならびに保護者の皆様にご臨席をいただく中で、群馬県立前橋南高等学校第49回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、本校を代表し、心より御礼申し上げます。

ただ今、本校への入学を許可された200名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎します。また、保護者の皆様、本日はご子息・ご息女のご入学、誠におめでとうございます。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、改めてお祝いを申し上げます。

本校は、昭和51年に、地域の方々からの大きな期待を背負って、初めての入学生を迎えました。本校の校訓は「独立自尊」、「進取果敢」、「下学上達」であり、新入生の皆さんが、自他の尊厳を守り、自分の責任のもとに行動する高い判断力、みずから進んで積極的に事をなす強い決断力、基本から学び始めて学問の奥義にまで到る勤勉さ、を持った自立した一人の人間として成長できますよう、教職員一同心から応援いたします。

さて、新入生の皆さん。皆さんは前橋南高校を目指し、入学者選抜を通して選ばれた人達です。残念ながら、入学者選抜で選ばれなかった人たちもいます。このことを踏まえ、本校の受験を決意したときの気持ちを忘れないでください。皆さんは、入学を希望しながらも叶わなかった同級生がいることを忘れず、このように活気溢れる本校に入学できたことに大きな誇りを持ち、本日から学校生活に積極的に取り組んでもらいたいと思います。

また、現在、本校はSAH (Student Agency Highschool) の指定校として、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指した教育活動を実施しています。これは、変化の激しい社会で活躍するために必要とされる非認知能力を身につけるための教育

活動の一つです。昨年度、すでにたくさんの生徒が主体的な活動に挑戦し、いくつかの事柄を実現してきました。例えば、校則の一部見直し、硬式野球部応援ツアー、アイスクリームの自動販売機の設置などです。これらは生徒自身が主体的に企画、説明、合意形成をし、外部との調整・折衝をして実現をさせたものです。新入生の皆さんも主体的な活動に挑戦をしてほしいと思います。

先ほどのSAHだけでなく、高校生活は、毎日、新しい事への挑戦ということになります。挑戦をしたとき必ずしもよい結果が出るとは限りません。失敗をすることもあるかもしれません。苦しいことや辛いこともあるかもしれません。そのようなときにも、勇気をもって自分を励まして乗り越えていきましょう。また、そんな時に助けてくれるのが友達です。是非、高校生活の中で多くの友達を作ってください。

保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。高校の三年間は、人生の方向を決定する大事な時期であり、悩み苦しみの大きい時期でもあります。お子様達が可能性を広げ、たくましく成長するためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが重要です。私たち教職員は、お子様の成長を願い、一生懸命に考え、支え、励まし、応援します。保護者の皆様も、どうか学校の方針を御理解いただき、御支援と御協力をたまわりたいと存じます。

結びになりますが、新入生一人ひとりの高校生活が、希望と感動に満ちた、有意義なものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和6年4月9日

群馬県立前橋南高等学校  
校長 原 拓史